

〔法学新報〕第31卷9（357）号 大正10年9月1日

漫録

○離婚の話

茲に掲ぐる一篇は中央大学講師松浦博士か去る七月三日開催の中央大学経済学会に於て講演せられたる速記にして同氏の訂正を請ふて掲載することとせり（記者識）

工学博士 松浦和平

唯今有益なお話がありました。私のは詰らない話で、此会には不適當な又纏りのない話してありますか漸時御清聴を願ひます

人間と云ふものは妙なもので、綺麗な景色を見ますと、ああ好い景色だ、奇麗ぢやないかと云ひますと本当だと皆合槌を打ちます。所か女を見まして、アレは奇麗ぢやないか、良い女だなと云ふと、にかい顔をします。人間でも景色でもBeautyとかPrettyとか要するに好感を与へる点に於ては何等の違ひかありますか、唯一方の景色は動態でない。人間は動態であるとの相違の有るのみですけれども、海の景色などになりますと動態である。さうして海の景色は褒めても、女を褒めるとイヤな

顔をすると云ふことは、何故でありますか。殊にイヤな顔をす
るやうな人か宗教家或は道徳家のやうな人間に多いと思ふ。そ
れはどう云ふ訳たと云ふと邪念があるから若し人間か所謂邪
念を持たない——さう云つたからとて私か今言つた宗教家か邪
念を持つて居ると云ふ意味ではないか——ならば女たらうか景
色たらうか、奇麗なものは矢張り奇麗て千変一律でなければな
らない。世の中の事は皆さうだらうと思ふ。詰り悪いサイドか
ら考へるから虚心平気で考へて行けは悪いものはちつともな
い。唯今の農村の社会問題にしろ、労働問題にしろ、其処に資
本階級とか労働階級とか有ると考へたり、之れを打破せねはな
らぬと考へたりするからであつて、そんな階級とか云ふこと
は、一体何処にありますか、知識の方面から云へば教師階級と
か、学生階級とか云ふ事か何処にあります。学生の方か勉強さ
へすれば先生よりズツト偉い人になる。資本の方面から申して
も今は金持か此の不景気を喰つて一文なして困つて居る人も沢
山ある。戦争前の貧乏人か今日非常な成金になつて威張つてゐ
る者もある。階級も何もありません。私は今日演題を離婚の
話と致しましたけれども、是は所謂羊頭を掲げて狗肉を売るの
か、狗肉を掲げて羊頭を売るのか分りませぬか、此の意味は少
しもないのであります。只申訳に一寸離婚の事を申す

よく日本では離婚が非常に多いと申しますか、米国では中
多い。紐育州では離婚が十万人に対して三十二人、デストリク
ト、ヲフ、コロンビアでは十万人に十三人ノースカロライナ州
は十万人に三十一人てあります。是等の州では御承知の通り不

義不貞以外には法律上離婚を許さぬのでありますから、他の理
由で離婚しようと思つても駄目で、結局離婚に近い別居と云ふ
ことを余儀なくせられ扶養の義務を負ふて居る。然るにネブラ
などは十万人に六百七人、モンタナか三百二十三人、オレゴン
では二百二十五人そんな訳で非常に多い。ネブタにリノと云ふ
所かありますか、其処に六ヶ月以上住むと市民になる資格が出
来る。さうして其の市民になると原因の如何に拘らず離婚が出
来る。紐育辺の人て別れなければならぬと云ふ人は皆リノに行
くのです。リノの町は私も知つて居るか、ホテルが非常に多い
のです皆方方の州からやつて来て、金を使つてホテルに六ヶ月
以上居て市民権を取つて直ぐに裁判所に離婚を持ち出すと、宜
しいと云ふので直ぐ別れる。さう云ふやうに離婚が非常にやさ
しいので非常に離婚の数は統計の上では多いのであります。所
で結婚する人はどの位かと云ふと、十万人に対して亜米利加全
体で一千五十人と云ふので離婚をする人か平均百十二人と云ふ
訳ですからちよつと九人に一人離婚をする人かある。そんな工
合で非常に離婚のやさしい所と難しい所かあるか、其原因は要
するに先程申上げたやうに、人間か達観か出来ないからであ
る。詰りどうせ違つた者か二人寄つて居るのですから考へ方も
違へは、顔色たつて無論違ふ。それで別れる。けれども別れた
所て社会的にはインターペンデントでどうしても死ななけれ
ば人間相互の関係は絶えない。人類の協同生活以外に立つ事は
出来ぬのである。相互は仇敵ではない、是は男ても女ても同じ
事て、さう云ふことを考へれば喧嘩などは出来ない筈である。

労働問題とか云ふけれども、私は何か分らない。ボンヤリして居るせいか知れないか、分らない。諸君が学校に居やうか、世の中に出やうか、自分か社会と没交渉ぢやない。どんな場合でも、地位の如何に拘らず、或は金錢の有無に拘らず、必ず各自交渉を有しインターデペンデントであることを考へると、下らない喧嘩などは出来ないのてあります。

私は面白い話を持つて来て居る。此所へ書いて来たから大略を読み上げます。昔金と銀と、それから白金、銅、真鍮、錫、鉛、鉄の八人かあつた——仮りに人間とします——さうして各々俺か偉い偉と頻りに議論をしてゐる。それを陰で聴いて居ると云ふと金か先つ言ふのに俺は金屬界にて最も貴重なる金屬、又非常に稀なる金屬である。無論今では処処方方にあるけれども、先つ一番先にカリフォルニア、濠州、ニュージールランド辺に盛に俺は首を出した。殊にアラスカ、クロンダイク、あの辺に首を出した時には、人間界で非常に騒ぎ、或は海を渡り或は林を超え大騒ぎをして、俺を取りに来たものた。其位俺は人間界で貴はれて居る。取る為めには非常な音をさせて岩を砕き、昼夜の別なく一生懸命になる。何の為めに入問か取るのかと考へて見たら、俺か沢山ありさへすれば、味い飯も喰へるし、立派な家に住めるし、立派な着物か着られる。要するに余程便利なもので、国家とすれば俺か澤山ありさへすれば其の國は富むし、さうして兵隊も強くなる。さう云ふことであると、俺は余程偉いに違ひない。併し俺の欠点は少し柔か過ぎる。だから人間は銅を少し混ぜて、金貨とか其他の裝飾品を作る。

是か一つの欠点と云ふやうなもの、兎に角非常に貴いものた。斯う云ふことを金か言つた。さうすると其次に白金か言ふのに、俺は熱に非常に強い。如何なる高熱を加へた所て溶けると云ふことかない、けれども諸君は少し高い熱に遇ふと直ぐに溶けて仕舞ふぢやないか、俺は少し熱を受けると唯少し膨脹するたけて、錆ひると云ふやうなことは決してない。又酸類に冒されるやうなことも決してないので従つて化学的にも、実用的にも非常に貴いものた。若し銅七分と、亜鉛一分と俺を十六分混ぜると云ふと、金と同じ色になつて、光沢でも何でも少しも違ひはない。さうして見ると世の中に金か偉いなどと云つて居るか、金など無くても裝飾用にも何にても俺一つて間に合ふのた。だから金などは逆も俺には適はない。さうして金は稀たと云ふけれども、俺は当時秘露にも少しは出るか主にウラル山、彼処には百年以上も住んで居つて、血統から云つても非常に古いものた。故に金などは逆も駄目たと非常に自慢した。さうすると其次に錫か立つて言ふのに今白金は大変血統か古いと云ふことを言つたか、俺は金屬の中では一番血統の古いものた。歴史から言つて非常に古い。近世紀と云ふやうな世紀物ぢやない。数世紀以前にフィンシヤ人は、タイヤとか、ビシドンとか云ふやうな港から自分を發見する為めに英吉利に航行してデボンの海岸に著いたと云ふやうなことがあるから、フィンシヤ人は古くから俺の存在を知つて居る。必要の点から云へば銅と俺とを混ぜると砲金と称して昔は大砲を拵へた。又偉い人を永久に保存する銅像にもなるのた。鉛を少し混ぜるとハンドと

云ふものになつて、金と金を附けるのに非常に便利なものた。又色から云へは真白で、金などのやうに黄色くはない。実に立派なものである。と滔滔と述へ立てた。さうすると銀か言ふのにそんな議論をした所て駄目だ。最も多く裝飾なり、実用なりになるのは俺だ。自分は最も古く墨西哥に生れ南米、或は亜米利加其他世界中に存在する。無論自分は銅よりは柔かいけれども、金よりは固い。電導用にもなるか、第一人間か当時大騒きする活動写真或は写真は皆銀の仕事だ。銀かなければ写真は出来ない。さう云ふやうな事を考へると、自分は世の中に最も必要なる金属だと斯う云ふことを言つた。所か真鑄の言ふのは、私は混血児で、銅と亜鉛と混ぜて出来たもので黄色い色をして居ります。合の子たけれども、各種の方面に利用されて居ると云ふことは誰も知らない人はない。私は自分ぢや何とも言はないけれども、知つて居る人は皆知つて居るのだから私は是て御免を蒙むると言つた。所か今度は鉛か言ふのに白金は熱に対して溶けない。或は金もさうたらう。銀も溶けないたらう。真鍮も溶けないたらう。併し私は直ちに溶けて仕舞ふ。其の溶ける所に価値があるのだ。溶けないからと言って威張つたつて仕様かない。今迄皆か言ふ通り何にても俺は混つて居る。殊にクナクナして居るから水道の管などになつて、むつかしい仕事の所に喰入つてやつて行く。俺かなかつた日には、第一普通の家で水など飲める所はありやしない。又昔は女の白粉になつて盛に顔に塗られたものたけれども此頃少し毒たと云ふので排斥されて居るけれども兎に角とうしても無くちやならぬもの

た。其次には銅か出て来て言ふのに、先刻銀か電氣に使はれて居ると云つたか、それは小細工で、大きなものになつて来れば俺だ。何処に太い針金を銀て作る所かある。皆俺だ。家庭用の器具、例へは鍋たとか其他色々なものになつて居る。唯其代り自分は酸に合ふと碌青か出て毒になるから、此奴は少し氣を付けて貰はなければならぬけれども、さう云ふものを除くと俺は非常に有益なものになる。だから先つ俺か一等たらう。斯う云ふと最後に鉄か出て言ふのに諸君黙つて下さる。俺は見られる通り色か黒い。色は黒いけれども馬鹿に固い。値段は安いけれども、諸君のやうに他の金属と混ぜなければ自分一人て役に立たぬ事はない。此頃ではニツケルやクロム等と混して使用せられるけれど混ぜなくとも役に立つ。色も変らない、唯少し室氣や水の為めに赤くなるけれども、是は人間たつて酒を飲めば赤くなるやうなものて自分の欠点と言ふことは出来ない。第一汽罐として他の金属の及はぬ所だ。此頃では機関車に利用される電車に利用される。アレは皆俺た大部分俺を使つてあるのだ。自分かなかつた日には人間はとうにもならない。殊に此頃の建築は鉄骨建築と称へ心棒は皆俺か入つて居るのだ。現に自分の強さは、一平方吋に対し二十五噸、伸張は殆ど五割、ノビも強さも兼備して居る。斯う云ふものは他にはあるまい。こんな風に各種の金属か集合して自慢話しに時を移して居るのを聞く時は其馬鹿馬鹿しさ加減は丁度お互人間同志か角つき合ふて居ると同様であります

此等の金属に各々特長の有る通り人間にも其地位や職業によ

り各々特長を有し其何れか偉いと云ふことはない筈でありま
す。自分か偉いと思ふて居ても他から見ても偉いと思はない。浅
ましいかな人間の中に入つて居るから分らないけれども外から
見ると丁度金属の喧嘩と同じ事である。私の専門は機械屋で
す。けれども今言ふ通り有ゆる方面の人か皆社会を構成する要
素です。大工の道具箱を御覧なされ。錐か偉くもなく鋸か一番
貴重なものでもない。其内の物は皆必需品で一品欠けても不便
てあります。さう云ふ具合に考へれば、学校騒動もなければ、
社会主義もない各其分に應じて任務を尽せば天下泰平て所謂人
類の協同生活は全きを為すのであります。兎に角人間は氣を大
きく持たねはならぬ。徳川家康か子孫を戒めた言葉に、世人は
金の貴きを知つて鉄の貴きを知らず、鉄無くんは禍乱何に依り
て治まらんとある。家康は鉄か一番偉いと思つて居つた。人に
依つて金か偉いと思ふ人があるかも知れない。それは、人の判
断たからそれに任して置いて自分は何所迄も任務を尽し各自イ
ンターデペンデントである事を忘れず相協力して一緒に社会の
建造に従事する事か人間の最大目的であつて、喧嘩と云ふもの
は最低の目的であると云ふこととて私の今日のお話を結びます

(拍手)